

令和2年度 スキャンツール補助金用診断データ作成方法について

G-scan 3 診断レポート作成手順

下記内容での作成例を記載

- ・メーカー名：トヨタ
- ・車名：レジアスエースバン
- ・型式：KDH206K
- ・エンジン型式：1KD-FTV
- ・年式：'07.08～'08.08（H19.08～H20.08）
- ・診断内容：パワートレイン・TCCS（エンジン）の自己診断

1. 「車両診断」を選択



2. 該当メーカーを選択



3. 該当車両情報を選択



4. 診断するシステムを選択後、「実行」を選択



5. 診断メニュー表示後、「自己診断」を選択



6. 診断結果が表示された画面で「レポート作成」を選択

11.8V 100% 17:23

TCCS > 自己診断(ノーマルト)

	故障コード	故障コード系統名(1/51)	状態
F2 モード	P00AF	VNターボトライバルシステム異常	↑
F3 消去	P00B4	ウォーター水温センサー系統High	🔍
F4 フリーズフレーム	P0102	エアフローメーター断線(Low)	🔍
	P0107	圧力センサー系統(Low)	🔍
	P0113	吸気温度センサー系統(High)	🔍
F7 レポート作成	P0118	水温センサー断線(High)	🔍
	P0122	スロットルセンサー断線(Low)	🔍
	P0183	・CNG車のとき 高圧側が水温センサー(High) ・ディーゼル車のとき 燃温センサー信号系統(High)	🔍
	P0193	・CNG車のとき 高圧側が圧センサー(High) ・その他の車両のとき 燃圧システム異常(High)	🔍
F11 データ表示	P0405	EGRリフトセンサー系統(Low)	🔍
F12 アクティブテスト	P0477	該当する故障系統名が見つかりません (このコードはOBD-IIコードの[P0477 排気ガス圧力制御バルブA(Low)]として使用しま...	🔍
	P0504	STPランプSW系統	🔍

Android navigation bar at the bottom.

7. 診断レポート表示画面で「新レポート作成」を選択



8. 必要情報を入力

※車両の型式、車両番号（ナンバー）または車体番号の情報が必須となります

車両診断レポート

車両名
トヨタ/車種選択/ハイブリッド/KDH206K/1KD-FTV/07.08~08.08(H19.08~H20.08)/ハイブリッド/TCCS

会社情報

顧客情報

会社名
株式会社 インターサポート

顧客名
水戸 太郎

住所
茨城県水戸市城南1-6-39

ナンバープレート
水戸100わXXXX

整備士名

VIN
KDH206-XXXXXX 自動読取

電話番号
029-303-8021

年式
平成20年9月

ファックス

補助メーター
999999.9

Eメール

車両型式
ADH-KDH206V

保存

※予め「本体設定」の「ユーザー情報」を入力することにより
会社情報の入力を省略することができます。

本体設定

個人情報を入力してください

名前

会社名

電話番号

Eメール

住所

保存

9. 「保存」を選択

The screenshot shows a mobile application interface for creating a vehicle diagnosis report. The form is titled '車両診断レポート' (Vehicle Diagnosis Report) and contains the following fields:

- 車両名** (Vehicle Name): トヨタ/車種選択/ハイブリッド/KDH206K/1KD-FTV/07.08~08.08(H19.08~H20.08)/ハイブリッド/TCCS
- 会社情報** (Company Information):
 - 会社名** (Company Name): 株式会社 インターサポート
 - 住所** (Address): 茨城県水戸市城南1-6-39
 - 整備士名** (Mechanic Name):
 - 電話番号** (Phone Number): 029-303-8021
 - ファックス** (Fax):
 - Eメール** (Email):
- 顧客情報** (Customer Information):
 - 顧客名** (Customer Name): 水戸 太郎
 - ナンバープレート** (License Plate): 水戸100わXXXX
 - VIN**: KDH206-XXXXXX (with '自動読取' button)
 - 年式** (Year): 平成20年9月
 - 排気量** (Displacement): 999999.9
 - 車両型式** (Vehicle Model): ADH-KDH206V

The '保存' (Save) button at the bottom center of the form is highlighted with a red rectangle.

10. 修理前スキャン結果の「追加」を選択

The screenshot shows the '診断レポート表示' (Diagnosis Report List) screen. At the top, there is a '+ 新レポート作成' (New Report Creation) button. Below it, a list of reports is displayed. The first report is for a Toyota vehicle, with the following details:

- 車種選択/ハイブリッド/KDH206K/1KD-FTV/07.08~08.08(H19.08~H20.08)/ハイブリッド/TCCS**
- 顧客名** (Customer Name): 水戸 太郎
- VIN**: KDH206-XXXXXX
- ナンバープレート** (License Plate): 水戸100わXXXX
- 日時** (Date/Time): 8月-11-2020 17:24:10

For this report, there are three action buttons:

- 修理前スキャン結果 未保存** (Before Repair Scan Results - Not Saved): This button has a red '追加' (Add) button below it, which is highlighted with a red rectangle.
- 修理後スキャン結果 未保存** (After Repair Scan Results - Not Saved): This button has a '追加' (Add) button below it.
- コメント/添付 未保存** (Comments/Attachments - Not Saved): This button has a '編集' (Edit) button below it.

The bottom of the screen shows the standard Android navigation bar.

1 1. 保存しますか?と表示されるので「OK」を選択する

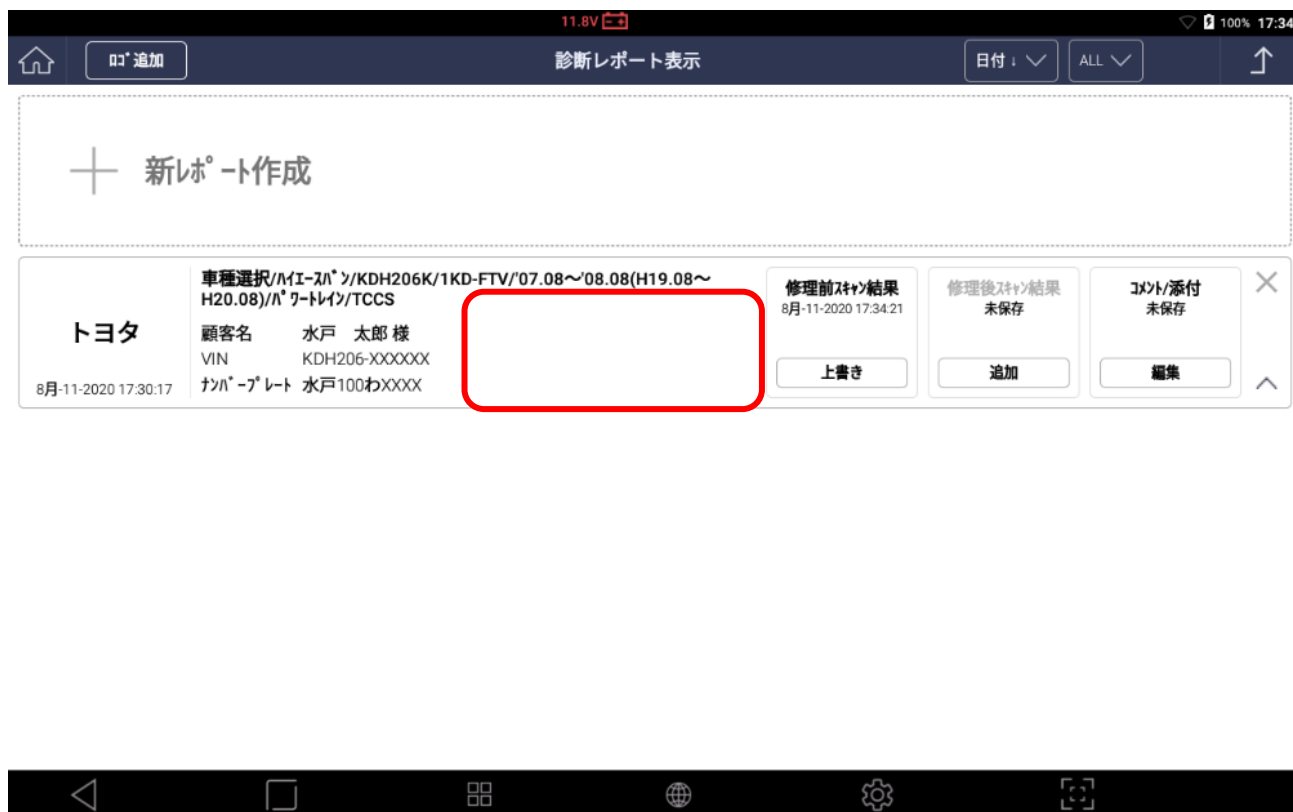


1 2. 保存完了のメッセージを確認して「OK」を選択

修理前スキャン結果のボタンが「追加」から「上書き」に切り替わります。



1 3. 作成したレポートの空いているスペースをタッチ



1 4. 表示された項目から「PDFとして保存」を選択



1 5. 「修理前スキャン結果」にチェックを入れ「保存」を選択



1 6. 「OK」を押して完了となります。



CSV ファイル抽出方法

ここでは作成された診断レポートを CSV ファイルで抽出するための手順をご案内致します。

下記内容での診断レポートを基にした抽出例を記載

- ・メーカー名：トヨタ
- ・車名：レジアスエースバン
- ・型式：KDH206K
- ・エンジン型式：1KD-FTV
- ・年式：'07.08～'08.08（H19.08～H20.08）
- ・診断内容：パワートレイン・TCCS（エンジン）の自己診断

1. G-scan 3 に外部メモリ接続する

接続が完了すると、画面左上に外部メモリに応じたアイコンが表示されます。※ここでは Micro SD カードを例に記載



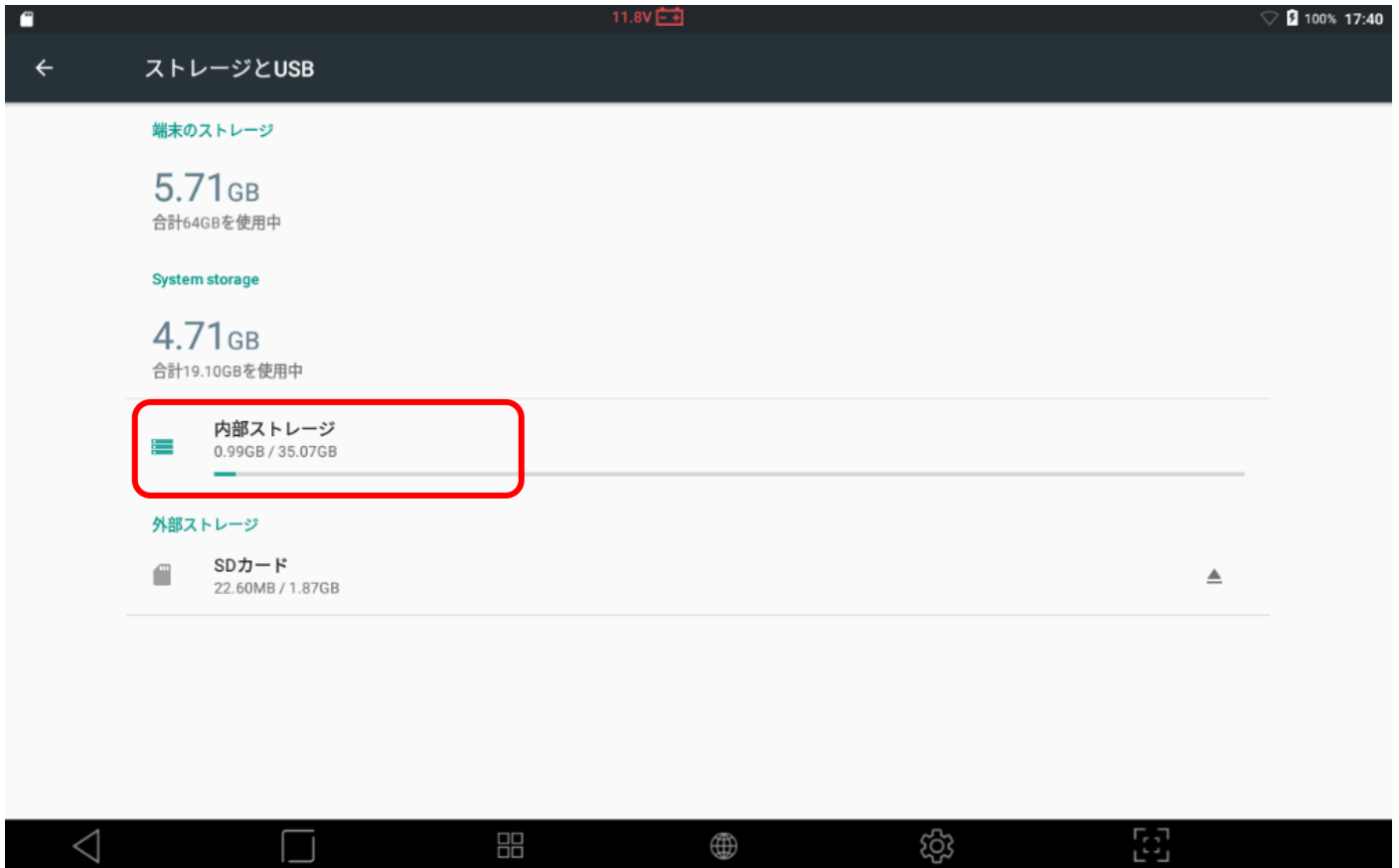
2. 「設定」ボタンを選択



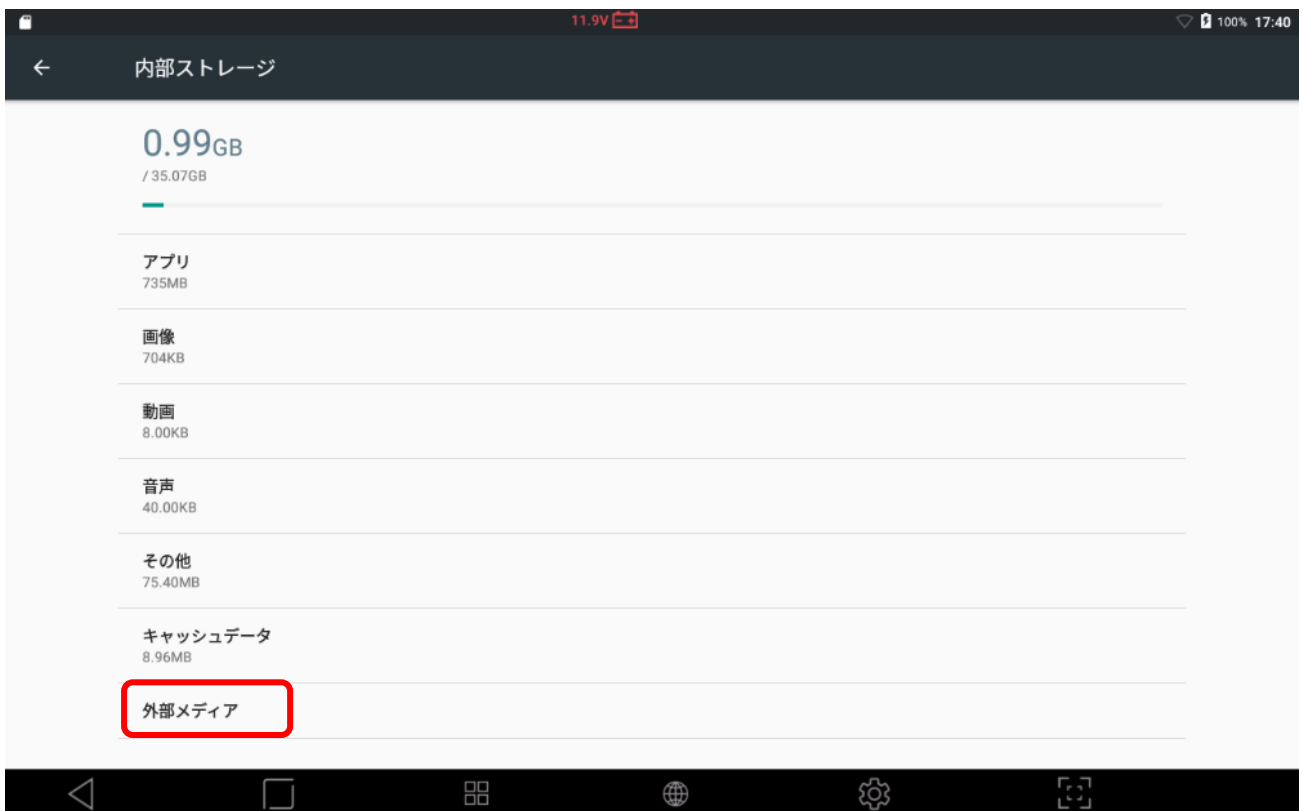
3. 「ストレージと USB」 を選択



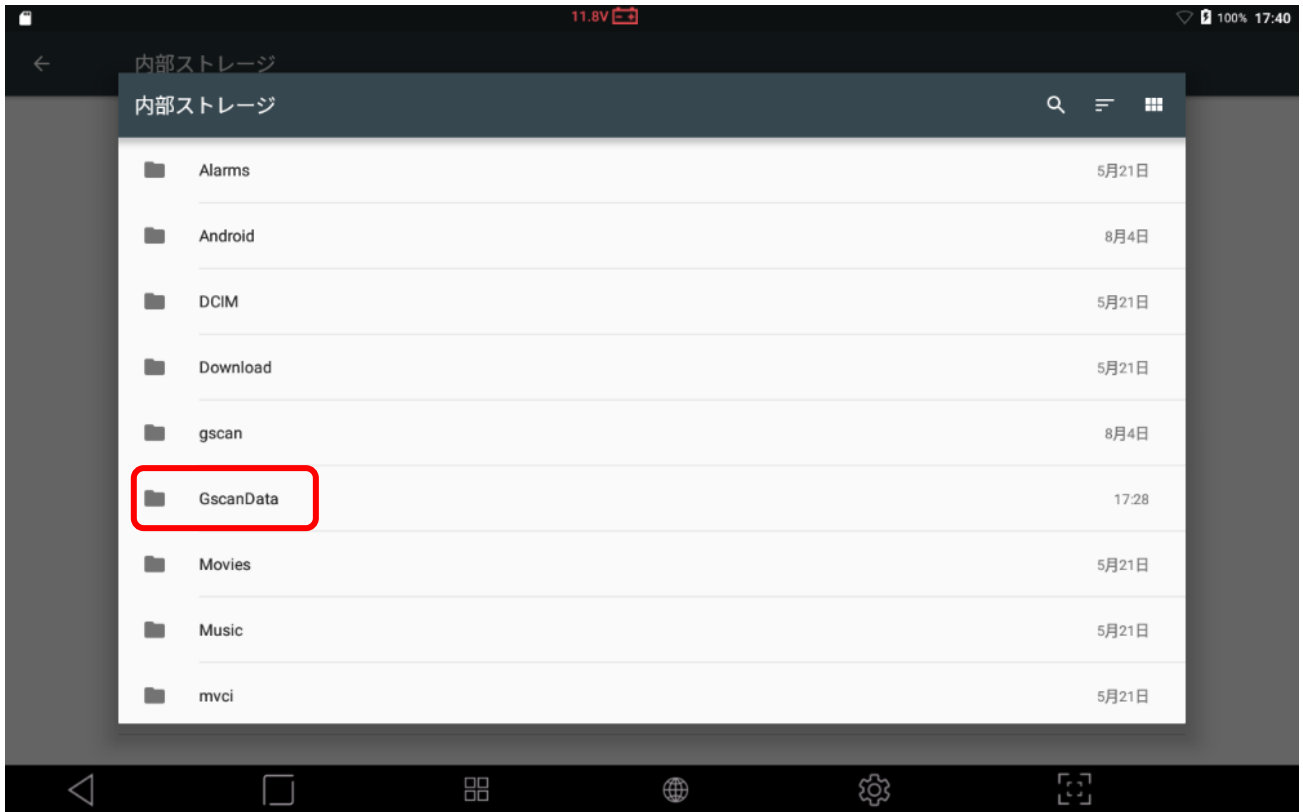
4. 「内部ストレージ」を選択



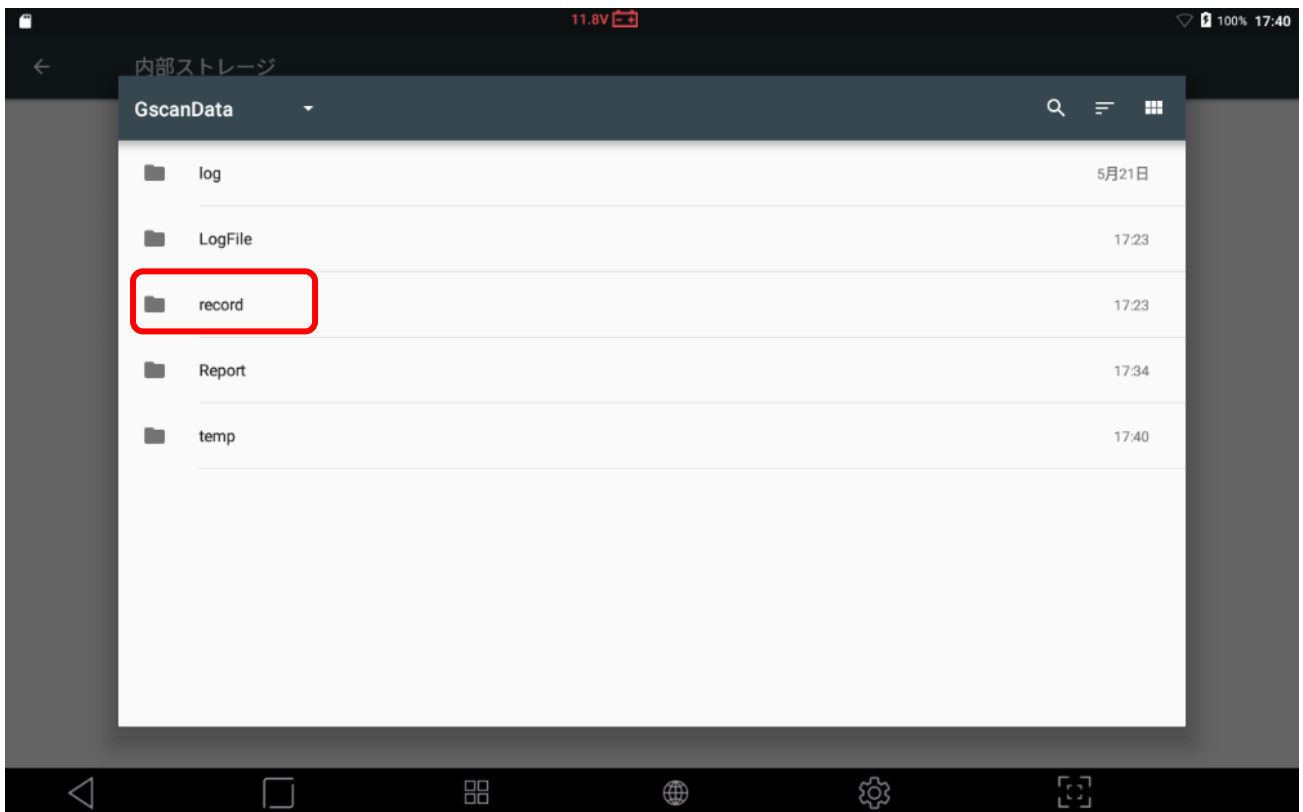
5. 「外部メディア」を選択



6. 「GscanData」フォルダを選択



7. 「record」フォルダを選択

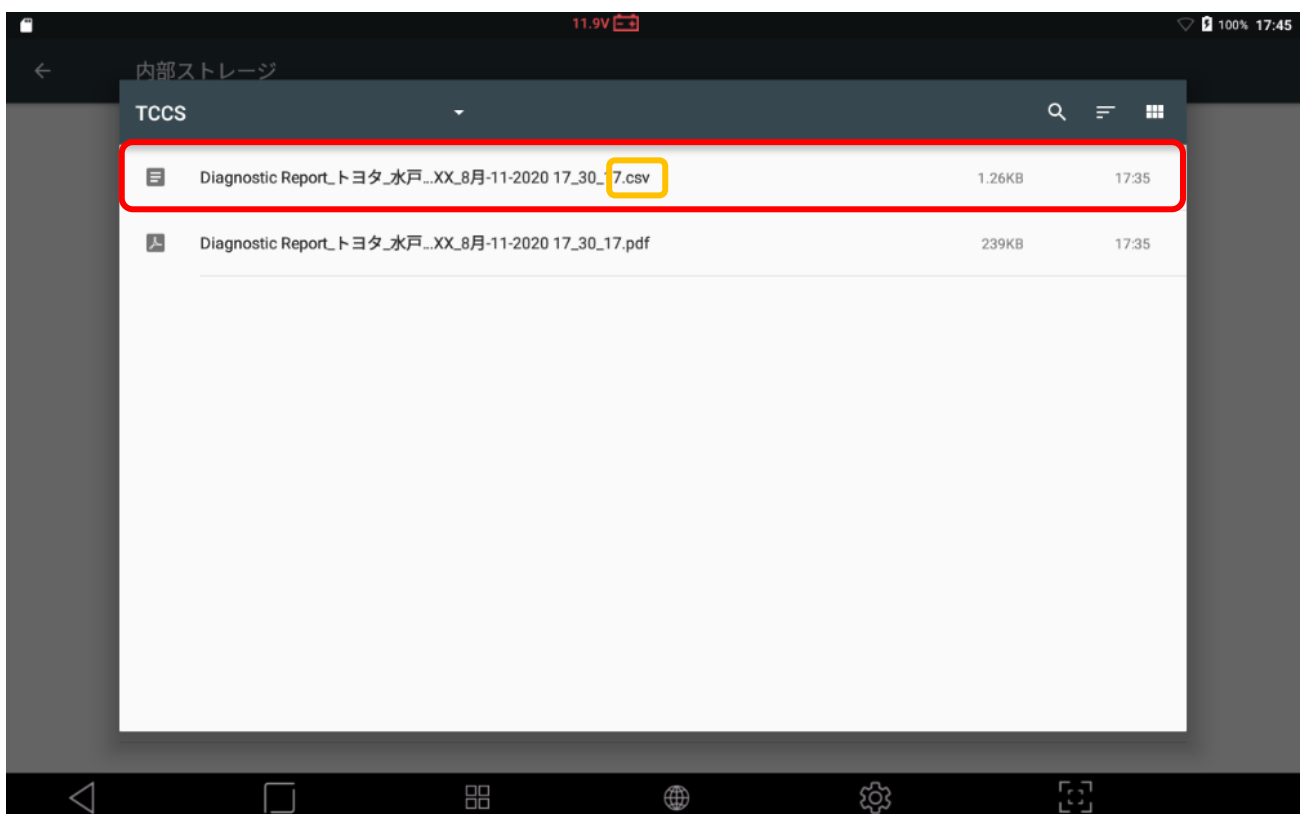


8. 診断データを作成したメーカー、車種情報を選択

※診断レポート作成時にファイル名を変更した場合この限りではありません

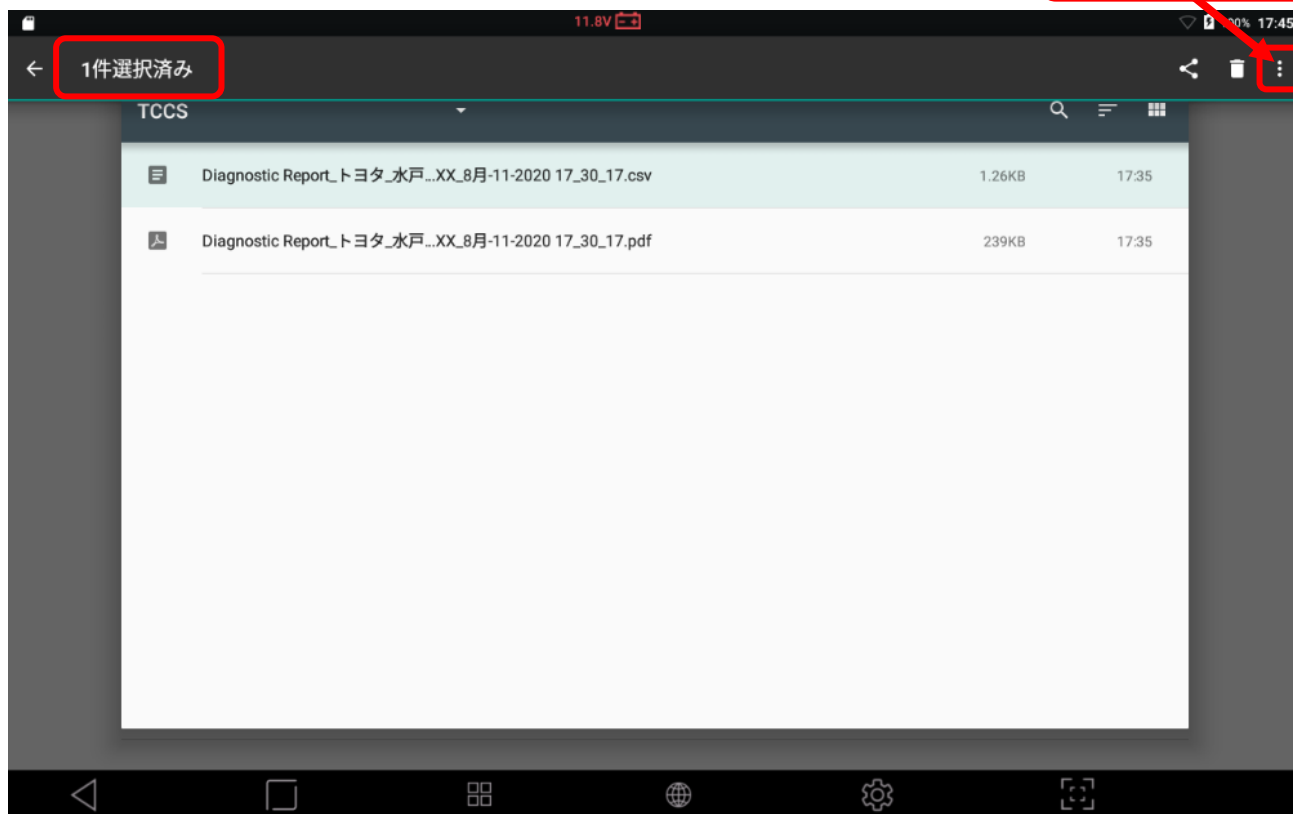


9. 末尾が csv となっているファイルを 2 秒以上長押し



10. 画面左上に「1件選択済み」と表示されたら、画面右上にある「メニュー」ボタンを押して「コピー」を選択

メニューボタン



11. 保存先の選択画面が表示されるため SD カードを選択後画面右下の「コピー」を選択



以上で抽出完了となります。

SD カードを取り外す際には必ず G-scan3 上で「取り外し」ボタンを選択してから取り外してください。

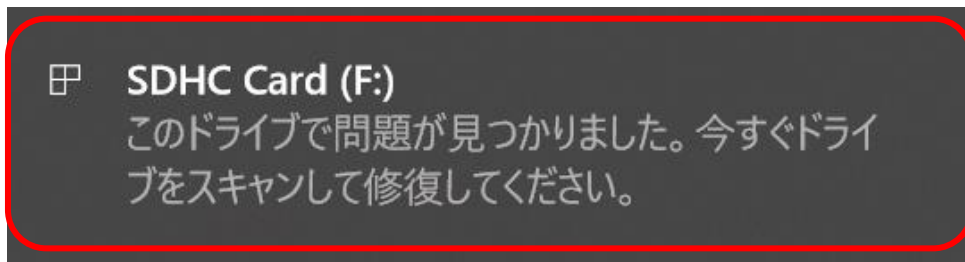


《 注意事項 》

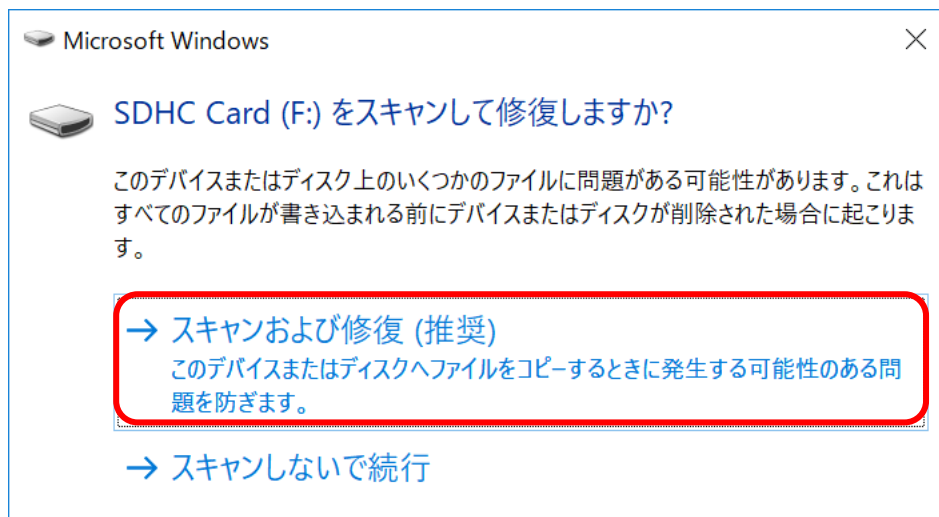
- ・ G-scan 3 では CSV ファイルの閲覧をすることはできません。
- ・ パソコンに SD カードを接続した際に「このドライブで問題が見つかりました」と表示される場合があります。
これは G-scan 3 が Android OS を使用しているため、異なる OS に接続した場合に発生するものになります。
実際に SD カード等が壊れているわけではありません。
対処法につきましては次ページをご確認ください。

<パソコンに接続した際のエラー対処方法>

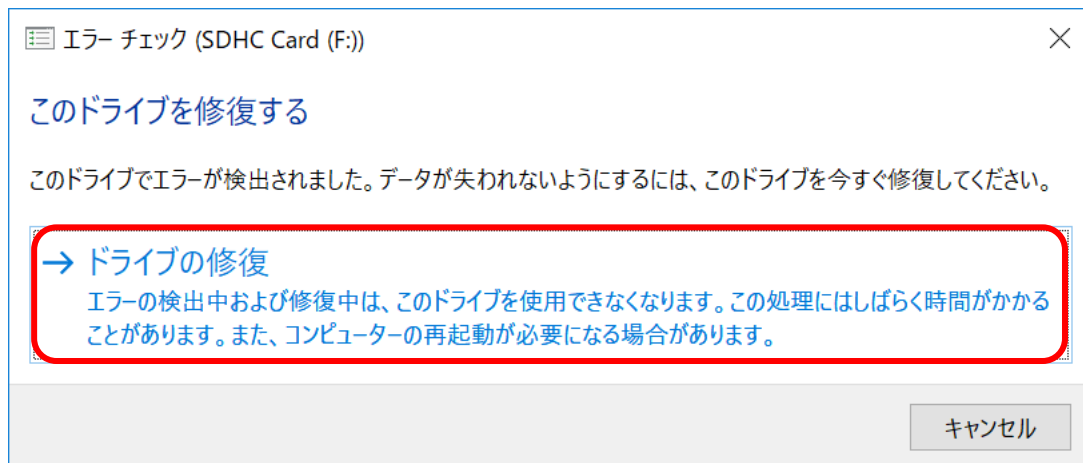
1. 下の図のようなメッセージが表示された場合その枠を選択



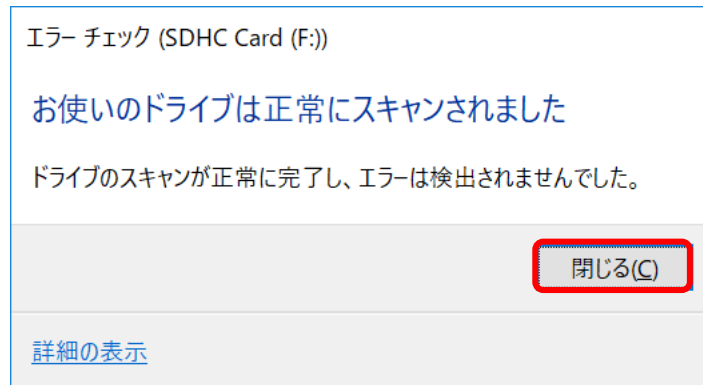
2. 「スキャンおよび修復」を選択



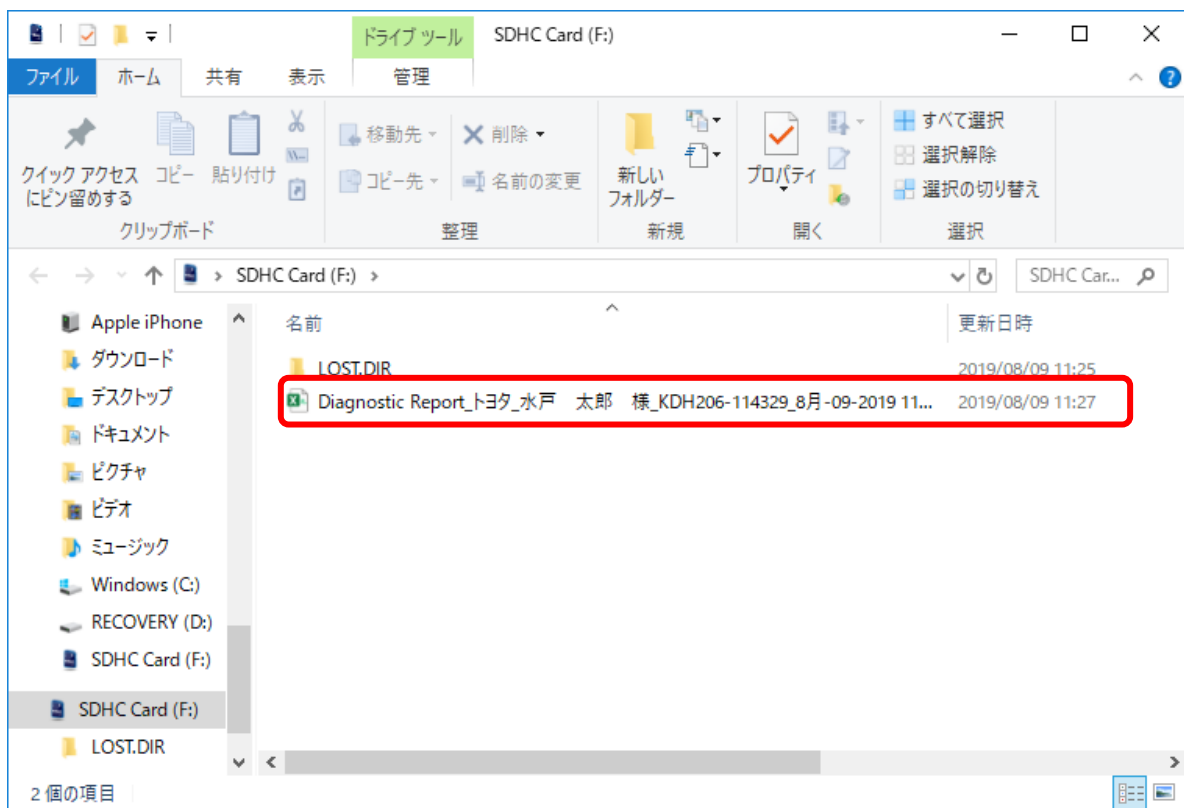
3. 「ドライブの修復」を選択



4. 完了メッセージが表示されたら「閉じる」ボタンを選択



5. パソコン上で csv ファイルを閲覧できるようになります



ご不明な点がございましたら弊社専用窓口までご連絡ください。

- ・ Tel : 050-3592-8702
- ・ 受付時間 : 月～金 (土日祝祭日、休業日は除く)
10:00～17:00 (12:00～13:00 は除く)